



安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	41-1842-8	版	2.02
発行日	2022/01/31	前発行日	2021/03/28

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

フィルテック[™] フィル アンド コア フロー コンポジットレジン プラス

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚感作性： 区分1
水生環境有害性 長期（慢性）： 区分4

GHSラベル要素

注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H413 長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

安全対策

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 P280E 保護手袋を着用すること。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 P273 環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シラン処理セラミック	444758-98-9	50 - 60
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	10 - 20
置換ジメタクリレート	27689-12-9	10 - 20
フッ化イッテリビウム (YbF3)	13760-80-0	1.0 - 10
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	1.0 - 5.0
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	1.0 - 5.0
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	< 1.0

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気的环境中に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合： 消化するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質

一酸化炭素

二酸化炭素

条件

燃焼中

燃焼中

消火作業員の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取り扱い時に直接触れない。皮膚に触れた場合には石鹸と水でよく洗う。含有するアクリレートは通常の手袋を

透過する。本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹼で洗い、新しい手袋と交換する。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。眼に入れない。

保管

熱から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
フッ化物	13760-80-0	ACGIH	TWA（フッ素として）： 2.5mg/m ³	A4：ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質

ACGIH：American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA：American Industrial Hygiene Association

ISHL：労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs：日本産業衛生学会許容濃度

TWA：時間加重平均値

STEL：短時間ばく露限界値

CEIL：天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
----	----

物理的状态:	粘調液状ペースト
色	歯様
臭い	わずかなアクリル臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	適用しない。
引火点	引火点>93°C
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	適用しない。
燃焼点 (上限)	適用しない。
蒸気圧	適用しない。
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない。
密度	1.5 g/cm ³
比重	1.5 [参照基準: 水=1]
溶解度	無視できるレベル。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

強酸化性物質

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

飲み込んだ場合

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - ≤5,000 mg/kg
シラン処理セラミック	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
シラン処理セラミック	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
置換ジメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
置換ジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 17,600 mg/kg
ジウレタンジメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ジウレタンジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フッ化イッテリビウム (YbF3)	皮膚	専門家による	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

		判断	
フッ化イッテリビウム (YbF3)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 11,700 mg/kg
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 35,000 mg/kg
トリエチレングリコールジメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
トリエチレングリコールジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 10,837 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	刺激性なし
置換ジメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
トリエチレングリコールジメタクリレート	モルモット	軽度の刺激

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	軽度の刺激
置換ジメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
フッ化イッテリビウム (YbF3)	専門家による判断	軽度の刺激
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	In vitro data	刺激性なし
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
トリエチレングリコールジメタクリレート	専門家による判断	中程度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	類似化合物	区分に該当しない。
置換ジメタクリレート	モルモット	区分に該当しない。
ジウレタンジメタクリレート	モルモット	感作性あり
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	マウス	区分に該当しない。
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	モルモット	区分に該当しない。

トリエチレングリコールジメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
---------------------	--------	-------

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
置換ジメタクリレート	In vitro	変異原性なし
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	In vitro	変異原性なし
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	In vitro	変異原性なし
トリエチレングリコールジメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン処理セラミック	吸入した場合	類似化合物	陽性データはあるが、分類には不十分。
トリエチレングリコールジメタクリレート	皮膚	マウス	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	妊娠期間中
トリエチレングリコールジメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/day	1世代
トリエチレングリコールジメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/day	1世代
トリエチレングリコールジメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/day	1世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シラン処理セラミック	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	類似化合物	NOAEL 非該当	
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 心臓 皮膚 消化管 骨、歯、爪及び/又は毛髪 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈管系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90日
トリエチレングリコー	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 833	78週

ルジメタクリレート		血液		mg/kg/day	
-----------	--	----	--	-----------	--

誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分4：長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
シラン処理セラミック	444758-98-9		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	ErC50	>100 mg/l
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	10.1 mg/l
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	ErC10	>100 mg/l
置換ジメタクリレート	27689-12-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
置換ジメタクリレート	27689-12-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
置換ジメタクリレート	27689-12-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	>100 mg/l
フ化イッテリビウム (YbF3)	13760-80-0	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	鯉	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	緑藻類	エンドポイントに達しない。	96 時間	EC50	>100 mg/l
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	緑藻類	実験	96 時間	EC10	1.1 mg/l

ート						
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	液状化	推定値	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	>100 mg/l
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	>100 mg/l
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LL50	>100 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	16.4 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	18.6 mg/l
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	32 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理セラミック	444758-98-9	データ不足			N/A	
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	22 CO2発生量/理論CO2発生量 (10-dayウィンドウの基準を満たさない)	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
置換ジメタクリレート	27689-12-9	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	7-12 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
フッ化イッテリビウム (YbF3)	13760-80-0	データ不足			N/A	
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	実験 加水分解		加水分解の半減期 (pH7)	29 日 (t 1/2)	
ビスフェノールAジグリシジルエーテルジメタクリレート	1565-94-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	21 % BOD/ThBOD	OECD 301F類似法
ビスフェノールAポリエチレングリコールジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	実験 生分解性	28 日	%	24 %	非標準的な手法
トリエチレングリコールジメタクリレート	109-16-0	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	85 重量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
シラン処理セラミック	444758-98-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ジウレタンジメタクリレート	72869-86-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	3.39	非標準的な手法

置換ジメタクリレート	27689-12-9	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	7.61	POW 分配係数
フッ化イッテリビウム (YbF3)	13760-80-0	分類にデータが 利用できない、 あるいは不足し ている。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールAジグリシ ジルエーテルジメタクリレ ート	1565-94-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.63	
ビスフェノールAポリエチ レングリコールジエーテル ジメタクリレート	41637-38-1	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	6.6	非標準的な手法
トリエチレングリコールジ メタクリレート	109-16-0	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.3	非標準的な手法

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

消防法：指定可燃物 (可燃性液体類)

主な法規制物質

法規名

成分	安衛法 (表示・通知)	化管法	毒劇法
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

16. その他の情報

改訂情報

セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.

セクション2：GHS分類 情報修正.

セクション2：健康有害性 情報修正。
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。
セクション3：成分表 情報修正。
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加。
セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正。
セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正。
セクション9：色 情報修正。
セクション9：揮発分 情報修正。
セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正。
セクション11：急性毒性の表 情報修正。
セクション11：発がん性の表 情報修正。
セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正。
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。
セクション11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正。
セクション11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正。
セクション11：皮膚感作性の表 情報修正。
セクション11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正。
セクション12：水生生物への慢性毒性情報 情報修正。
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。
セクション14：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正。
セクション15：法規名 - 表 情報修正。

免責事項：この安全データシート情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートの記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシートの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。